

法人名 特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム

事業計画書

事業名	熊井の森・里山の味覚満喫食育事業
種類	特定分野事業分野指定枠（みどりと川の再生）
1. 事業の目的	<p>越辺川の支流・鳩川の上流に位置する鳩山町熊井地区には、都内から1時間程度の距離にありながら東山沼・石場沼などのため池の用水で育まれた豊かな緑と懐かしい里山風景が今も残っています。</p> <p>そうした豊かな里地里山を保全し、より豊かなものにしていくためには、自然財産の大切さへの理解者を広げ、また、自然からの恵みを生活に取り入れ、現金収入にもつなげる里山での暮らし（なりわい）の成立が必要ではないでしょうか。</p> <p>今回の申請事業は、そうした主旨に賛同いただいた地元生産者との連携実施事業です。</p>
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>（1）事業の実施地域</p> <p>鳩山町北部地区の山林（熊井の森）の裾野とため池用水流域に広がる上熊井及び下熊井地区。具体的には、県の平成29年度NPO助成金で設置した「ピザ窯」周辺と、今回の事業に協力する熊井地区の農業生産者（根岸正樹、森利夫、閑野智道）の3カ所の畑・果樹園、及び、今年度10月に開業する「上熊井農産物直売所」と、そのわきを流れる辻川（用水路）が実施会場です。</p> <p>（2）実施事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育学習・企画立案のノウハウの蓄積不足 <p>地域食材の文化・生産状況・食し方など伝える「食育」教育の必要性を自覚されている農家の方々はいらっしゃるのですが、具体的にどう取り組んでいいか、どうしたら実現できるかが見えて来ないまま、現在に至っています。→地域と連携して「食を活かした各種企画」の立案実施、そのための試行的実践経験の蓄積が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里地里山の大切さの更なる啓発 <p>当団体は、昨年度にはクラウドファンディングを実施するなどして、独自に活動資金を募りながら、熊井の森のトラスト活動（山林取得と管理）を続けていますが、里山保全活動への町内外の理解者や活動ボランティアをもっと増やすにはどうしたらいいかが課題です。→自然学習・自然体験・食育教育など様々な魅力的なイベントを繰り返し開催することで、里地里山の大切さと里山保全を自ら担うことの必要性を訴えていきたい。</p>

3. 具体的な事業
内容

【自然体験・森の恵み活用事業】

①参加募集時のイベント名

里山の魅力たっぷり体験・熊井の森味覚1日ラリーツアー&写真コンクール(仮称)

②事業内容：辻川での川遊び生き物観察&秋の味覚狩り

③開催日時：2021年10月23日(土)午前9時～午後3時

④実施概要：

9:00 集合 上熊井農産物直売所

ラリーの仕方、安全注意のガイダンス、写真コンクール応募のおすすめ

9:30 上熊井地区の生産者2人の果実園(柿、栗)へ各自、家族単位で自家用車で自由に移動。果実園で収穫体験、生産者自身が食育ガイド

12:00 農産物直売所に戻る(昼食)

地元農家の方がつくった手作りおこわ弁当か有機パンランチを試食

12:30 すぐ横を流れる辻川(東山沼の用水路)で川遊び・生き物観察会(川やため池、その水源となる里山の大切さを学習)

13:30 下熊井地区の有機野菜生産者の畑に集合。芋ほり体験、焼き芋の試食(おやつタイム)

14:30 イベント終了。スタンプ確認。熊井の森を知るモニター・アンケート(今日1日学んだこと、体験したことからQ&A形式)に答えてもらって、最後に集合写真(後日データ送付)を撮影して解散(15:00)。

⑤実施概要：参加者応募の写真を各サイズA3の写真パネルにして、「熊井の森ワンダーランド写真展」(仮称)を12月頃、上熊井農産物直売所または泉井交流体験館で開催。

⑥参加定員：安全性と協力要員数を考慮して、30人程度(8家族)とする。この企画ノウハウを1つのユニットとして、次年度には年に複数回の開催をめざす。

⑦参加費：大人3,000円、小学生2,000円、3歳以下無料。

<事業の特徴>

里山の自然学習(川遊び生きもの調査)と里山の食育(秋の味覚狩りと生産者との交流)と里山の魅力広報参加(写真コンクール)の3つを、1日で一度に体験できる充実した企画です。

<p>4. 具体的な事業の実施計画</p>	<p>○事業のスケジュール</p> <table border="1" data-bbox="488 197 1342 624"> <tr> <td>時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>イベント運営関係者の協議</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>参加者募集の開始</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>食育ガイドのテキスト作成</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>実施日 10月23日(土)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>写真コンクールの準備</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>写真コンクール作品展示</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>事業の経費精算</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td></td> </tr> </table> <p>○広報計画について</p> <p>企画実施確定後、参加者募集のため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター作成掲示 ・鳩山町の広報「広報はとやま」に募集掲載 ・ブログ、ホームページ、インスタグラムで募集 ・埼玉県のホームページで募集 ・旅行イベントガイドに掲載(有料) ・チラシを若い世代が居住する近郊住宅街にポスティング 	時期		7月	イベント運営関係者の協議	8月	参加者募集の開始	9月	食育ガイドのテキスト作成	10月	実施日 10月23日(土)	11月	写真コンクールの準備	12月	写真コンクール作品展示	1月	事業の経費精算	2月	
時期																			
7月	イベント運営関係者の協議																		
8月	参加者募集の開始																		
9月	食育ガイドのテキスト作成																		
10月	実施日 10月23日(土)																		
11月	写真コンクールの準備																		
12月	写真コンクール作品展示																		
1月	事業の経費精算																		
2月																			
<p>5. 事業の実施体制</p>	<p>①総括責任者 代表理事 愛場謙嗣</p> <p>②連絡責任者 理事 下川敬明</p> <p>③現場責任者 嵯峨千代美</p> <p>④経理担当者 理事 佐藤咲子</p> <p>⑤広報担当者 理事 野田小百合</p>																		
<p>6. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか</p>	<p>持続可能な地域づくりのためには、助成金だけに頼るのではなく、しっかり有料にしてそれなりの参加費をとり、自立した事業になることを目指したい。そのためのモニター事業と位置付けます。</p> <p>安全誘導協カスタッフ人件費、生産者への売り上げ金渡しを考えると、参加費額は最低 5000 円の一律設定が必要です。しかし、その金額では、1 家族 2 万円以上の出費となり、参加申し込みのハードルが高くなります。今後、どのような企画にすれば採算が合うか、どうすれば生産者への収益還元が可能になるかは、今回のモニター事業結果を元に、地元と話し合って次年度に生かしていきたい。</p> <p>今年度は、参加費は 1 家族 1 万円程度に抑え、経費の不足分は助成金で補填したい。企画賛同生産者には参加者数の如何にかかわらず、生産者 1 軒 2 万円(企画協力、果実提供料として)を均等に支払うことをご協力いただきます。</p> <p>ただし、将来の自立企画化を想定しているので、今回のイベントでは、参加者には参加費(1 家族 1 万円程度)を徴収。収入が助成額を上回った場合は、余剰分は返還します。</p>																		

<p>7. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること</p>	<ul style="list-style-type: none">・当団体がNPO法人として、これまで続けてきた環境保全事業の実績の蓄積により、“地元との連携”でようやく実現した企画であること。・自立型「里地里山づくり」に向けた地元主導の“民間レベル”での試みであること。今回の事業実施結果を元に、①必要経費の基本額、②運営のための人件費、③参加料の金額の妥当性、④より採算の合う魅力ある企画づくり、⑤地域の活性化への貢献度の向上策、⑥里山の保全と活用のバランス等を、NPO法人であっても必要とされるマネジメント能力の向上を図れます。
---	---